

## 2020年2月12日第87回BABOK研究会議事録

PM学会中部支部

IIBA中部支部

### 1. 日時

2020年2月12日（水） 18:30～20:30

### 2. 場所

(株)第一コンピュータリソース8階会議室2

### 3. 出席者

(敬称略順不同)

近藤史人、河村信彦、門野秀哉、中村康司、永井 景子、渥美奈緒美、水谷好江、  
大橋 秀和、木村 俊治、鈴木聡（記）、金田 芳博（リモート（zoom））以上11名

### 4. 議題

- (1) 活動の説明
- (2) 2020年度活動計画について

### 5. 議事

#### (1) 活動の説明

今回、大橋さん、木村さんに、初参加頂いたので、研究会活動の概要説明を実施。

#### (2) 2020年度活動計画について

今年度の、BAO（Business Analysis Office）をテーマとした研究活動の進め方について、議論を行った。

今年度の活動でBAOの幅広い業務範囲のどこを研究対象とするのか、進め方として全体像を俯瞰してトップダウンで詳細化してゆくのか、ボトムアップで事例

研究からスモールスタートするのか、前回の研究会で進め方や範囲について結論が出なかったため、各自持ち寄ったアイデアを元に、方向性を固める議論を行った。

鈴木が資料化した組織構造の違いによるBAOの役割、今回研究対象とする範囲の案、近藤さんが追記した、明確化すべき項目（キーワード）などを叩き台として、議論を進めた。

結果、経営課題そのものの深掘は今回行わず、経営課題からビジネス要求を引き出し、一つのプロジェクトの立ち上げから終結までの各プロセス群に対応する、BA活動をBAO研究の対象範囲とした。

BAO活動の意義として、現場BAに対するスキルの補完や経営課題の浸透もあるが、契約上どこかの組織に所属して活動するBAが組織の人間として見られるのに対し、BAOは基本組織外の専門組織であるためステークホルダから中立的に見られやすい。という意見を、水谷さんから頂いた。

BAO活動を漏れなく押さえるため、一つの指針として、PMBOKに示されている、プロセス群と知識エリアに呼応したBA活動のプロセス群と知識エリアが、PMIのBAガイドに示されているため、ひとまずこれを指針として進めてはどうか。

近藤さん作成の明確化すべき項目（キーワード）に、BAOが使用するツールは何か、というページがあるが、近藤さん監修のBAツール・VSBA（DCRの製品）について、簡単なデモを実施した。今後研究を進めてゆく中で、活用を行う。

具体的な対象について、実企業を対象とするか、仮想企業を対象とするかを議論。最終的に成果発表をおこなうことから、メンバーの身近な実企業は対象になりにくい。一例として、プロジェクトが公開されていること、ステークホルダに製造業や運輸業なども関係する、自治体MaaSプロジェクトにターゲットを置いて進める案が出された。対象プロジェクトを何にするかは、各自リサーチして、次回議論する。

## 6. 次回予定

### (1) 日程

第87回                      2020年 2月12日(水) 18:30 ~ 20:30

### (2) 議事予定

BAO研究のモデルケースを決定し、大まかなSHの特定を行う。

## 7. 成果物

Business Analysis Office - (進め方案).pptx

(Google Driveに配置します。参照可能な方は下記リンクから参照願います。)

<https://drive.google.com/file/d/1fmHZC9O97GtfSmonRwZemeoWGsfPNcqf/view?usp=sharing>

## 8. その他

### (1) 懇親会

研究会後、居酒屋カリーで懇親会を実施した。

参加者：近藤、水谷、永井、渥美、鈴木

—以上—